

## 第4章

# エジプトの貿易パターンとFTA戦略

渡辺 松男

### はじめに

近年、エジプトは、EUとの連合協定、大アラブ自由貿易地域構想をはじめ、FTA（自由貿易協定）を積極的に推し進めている。エジプトは、輸出先上位の日本、中国、インド、スリランカとのFTAにも関心を示しており、インドとスリランカの間ではすでに交渉が始まっている。

エジプトはなぜ積極的にFTAを進めているのか。現状の経済実態に鑑みて、その目的と方法に妥当性はあるのか。FTAによってどのような効果が期待できるのか。またFTAを推進するうえで、エジプトが乗り越えるべき障害は何か。本章は、このような問題意識のもとにエジプトのFTAのあり方を考察する。

構成は以下のとおり。第1節では、エジプトの経済構造と貿易パターンをバラッサモデルから計算した顕示比較優位（RCA）を分析しながら、他のアラブ諸国との比較によって概観する。第2節では、エジプトのFTA政策の基本戦略と、1990年代からの各国・地域との協定の締結状況をみたくうえで、FTAを進めるうえでの問題点を検証する。第3節では、グラビティモデルを用い、アラブ地域における地域統合スキームのひとつである「湾岸協力会議」（GCC）の域内貿易に対する効果を、他の途上国間統合スキームと比較し分析する。これらを踏まえ、第4節では、日本とのFTAを検討材料に、エジプトのFTA

戦略が成功するための条件を考察する。

## 第1節 エジプトの経済と貿易の構造

### 1. エジプトのマクロ経済

エジプト経済は、1990年代半ばに年平均5%程度の成長を達成した。だがその後1990年代末より、石油輸出余力の低下、輸入拡大による外貨不足、銀行の不良債権、財政赤字の拡大、ルクソール事件および9・11テロ事件による観光収入の減少などによって、景気が停滞している<sup>(1)</sup>。また、農業生産の停滞や輸出産業の伸び悩み、高い失業率や貧富の差の拡大といった構造的問題を抱えている。

2001年のエジプトのGDPは910億ドルにのぼり、「アラブ通貨基金」(Arab Monetary Fund: AMF) 19加盟国中、サウジアラビアの1860億ドルに次ぐ経済規模である(表1)<sup>(2)</sup>。だが1人当たりのGDPは1400ドルにすぎず、UAE、カタールなどの他の産油国に遠く及ばない。貿易に関しては、輸出、輸入はそれぞれ42億ドル、122億ドルで、大幅な入超である。GDP比は4.6%、13.4%で、他の中東諸国に比べ、輸出入とも貿易依存度は低い。だがエジプトの輸出の15%弱はアラブ向けであり、域内依存度はアラブ諸国のなかでは小さくない。他方、域内国からの輸入は9.2%にとどまっている。

では経済の構成はどうか。表2に示すように、エジプトの特徴として、金融(GDPの20.3%)をはじめとするサービス部門の貢献があげられる。また、農林水産業(15.7%)および製造業(18.0%)の割合はアラブのなかで最も大きい国のひとつであるが、他方、原油などの鉱業および公的部門への依存度は低い。以上のことから、他のアラブ諸国に比べ、エジプト経済は規模も大きくかつ多様化しているといえる。また原油への依存度が低いことから、先述のように農業(および工業)部門のパフォーマンスの低下は、経済全体に大き

表1 アラブ諸国マクロ指標 (2001年)

	GDP (100万 ドル)	GDP/人 (ドル)	輸出		輸入	
			金額(100 万ドル)	GDP比 <sup>1)</sup>	金額(100 万ドル)	GDP比 <sup>1)</sup>
エジプト	91,064.7	1,409	4,196.6	4.6% (14.7%)	12,172.2	13.4% ( 9.2%)
アルジェリア	54,679.8	1,661	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
バハレーン	7,936.2	11,115	5,576.9	70.3% ( 9.3%)	4,409.0	55.6% (30.6%)
UAE	67,761.5	20,602	48,774.0	72.0% ( 6.5%)	35,550.0	52.5% ( 9.6%)
イラク	81,038.0	3,312	11,034.5	13.6% ( 9.6%)	2,526.8	3.1% (20.2%)
ヨルダン	8,829.3	1,704	1,907.4	21.6% (30.7%)	4,871.3	55.2% (23.7%)
クウェート	32,812.4	14,629	16,174.1	49.3% ( 3.1%)	7,870.8	24.0% (15.8%)
レバノン	16,708.6	4,399	754.5	4.5% (45.2%)	6,671.3	39.9% (11.8%)
リビア	32,065.2	5,489	8,446.4	26.3% ( 5.2%)	3,916.1	12.2% (13.5%)
モーリタニア	988.4	363	356.2	36.0% ( 2.3%)	698.8	70.7% ( 7.6%)
モロッコ	33,491.1	1,146	6,969.4	20.8% ( 4.3%)	10,030.2	29.9% (13.3%)
オマーン	19,945.4	8,314	11,171.7	56.0% (10.0%)	5,399.1	27.1% (36.5%)
カタール	16,152.2	28,140	10,870.1	67.3% ( 6.5%)	3,758.1	23.3% (13.9%)
サウジアラビア	186,489.5	8,197	67,793.3	36.4% ( 9.3%)	31,223.2	16.7% ( 5.2%)
ソマリア	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
スーダン	12,525.2	396	1,949.0	15.6% (12.3%)	1,585.5	12.7% (17.0%)
シリア	19,182.5	1,144	5,053.0	26.3% (16.6%)	4,587.4	23.9% ( 8.8%)
チュニジア	20,043.1	2,072	6,535.2	32.6% ( 8.3%)	9,552.7	47.7% ( 6.9%)
イエメン	9,096.9	481	3,368.6	37.0% ( 6.3%)	2,350.7	25.8% (37.8%)

(注) 1) かつこ内は Arab Monetary Fund加盟国総額に占める割合。

(出所) Arab Monetary Fund, *National Accounts Statistics 1990-2001*.

な影響を与えている。

## 2. エジプトの貿易構造

エジプトの主要貿易品目(表3)は、輸出では石油・天然ガスなどの鉱物燃料(40.1%),工業製品(綿糸・綿織布を含む)(26.5%),食糧・飲料(11.4%),化学(7.7%)など<sup>(3)</sup>,輸入品目は食糧・飲料(24.7%),機械・輸送機器(23.5%),工業製品(17.3%),化学(12.7%)である。表4は、パラッサモデルを用いて

表2 アラブ諸国の

	エジプト	アルジェリア	バハレーン	クウェート
農林水産業	15.7	9.2	0.7	0.4
鉱業	7.1	35.5	24.8	45.6
製造業	18.0	7.0	11.5	6.6
電気・ガス・水道業	1.5	n.a.	2.2	-1.1
建設業	4.4	8.7	3.7	2.4
物品部門計	46.7	60.3	43.0	54.0
卸売・小売・飲食業	1.5	21.8	8.2	6.9
運輸・通信	8.4	n.a.	7.2	5.1
金融・保険業	20.3	n.a.	7.5	8.8
流通部門計	30.2	21.8	22.9	20.8
不動産業	1.9	n.a.	8.5	n.a.
行政サービス	7.4	11.4	15.8	24.5
その他サービス	7.5	n.a.	6.5	n.a.
サービス部門計	16.8	11.4	30.8	24.5
要素費用表示GDP	93.6	93.5	96.6	99.3
純間接税	6.4	6.5	3.4	0.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(出所) Arab Monetary Fund, *National Accounts Statistics 1990-2001*.

顕示比較優位指数を計算し、エジプトの対世界の比較優位（劣位）品目を列挙したものである<sup>(4)</sup>。これによると、エジプトはとくに繊維(3.73)、衣服(4.28)、鉱物(2.86)に特化しており（すなわち比較優位がある）、その特化の度合いは世界のなかでそれぞれ8位、29位、44位である。なお生鮮食品(2.44)にも比較優位はあるものの、エジプトよりもその度合いが高い国は83カ国存在する。他方、電気部品(0.11)、機械(0.21)は比較劣位を有し、輸入に依存していることがうかがえる。

エジプトの貿易相手地域は、輸出入とも西ヨーロッパ、アジアが主要な位置を占め、北米がこれに続いている（表5）。今後、中・東欧諸国などにEUの拡大が実現するにつれ、エジプトにとってEUの重要性はいっそう高まる。表6の国別輸出入相手を見ると、サウジアラビアを除き、輸出入とも先進工

GDP構成比 (2001年)

(%)

リビア	モロッコ	オマーン	カタール	サウジアラビア	チュニジア	UAE	イエメン
8.3	12.2	2.0	0.5	5.1	11.9	3.1	14.6
29.2	2.8	42.8	56.4	34.5	3.8	28.0	30.3
6.1	18.3	8.3	5.9	10.0	18.1	14.7	6.8
1.9	8.4	1.0	1.1	0.5	2.0	2.0	1.0
6.6	4.8	2.1	3.5	6.2	4.9	8.1	4.2
52.1	46.5	56.3	67.4	56.3	40.7	55.9	56.9
11.4	21.1	12.3	5.8	7.1	15.9	12.3	12.5
8.2	7.2	6.4	3.7	4.4	8.4	6.6	11.2
2.2	n.a.	0.9	1.9	4.9	4.1	3.8	0.7
21.9	28.3	19.7	11.3	16.4	28.3	22.8	24.4
3.1	n.a.	4.3	3.9	6.3	3.3	8.7	5.2
19.8	13.9	9.9	14.5	17.7	13.0	9.9	10.8
2.6	11.3	9.0	2.2	2.2	1.6	2.3	0.8
25.5	25.2	23.2	20.7	26.2	17.9	21.0	16.8
99.5	100.0	99.2	99.4	98.8	86.9	99.6	98.1
0.5	n.a.	0.8	0.6	1.2	13.1	0.4	1.9
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

業国が上位を占めている。石油製品、繊維、アルミニウムなどを中心に、イタリア、アメリカ、オランダ、フランス向けに輸出されており、アメリカ、ドイツなどから機械、輸送機器が輸入されている。また、エジプトの特徴として、パン用の小麦の輸入が注目される。このことから、エジプトの対外貿易は、欧州が大きな位置を占めていることがうかがえる。

表3 エジプトの貿易品目 (2001年)

(単位: 100万ドル, かっこ内%)

	輸出	輸入
食糧・飲料	477.35 (11.4)	3,005.82 (24.7)
シリアル	208.02 ( 5.0)	1,261.11 (10.4)
原料	278.90 ( 6.6)	1,125.98 ( 9.3)
農業原料	n.a.	627.89 ( 5.2)
綿花	140.90 ( 3.4)	n.a.
鉱業・鉱石	n.a.	n.a.
アルミニウム	n.a.	n.a.
リン酸肥料原料	n.a.	n.a.
鉄鉱石	n.a.	
鉱物燃料	1,680.94 (40.1)	627.89 ( 5.2)
原油	300.55 ( 7.2)	n.a.
化学	322.96 ( 7.7)	1,547.53 (12.7)
機械・輸送機器	53.28 ( 1.3)	2,860.42 (23.5)
工業製品	1,113.50 (26.5)	2,108.81 (17.3)
その他	269.69 ( 6.4)	895.75 ( 7.4)
合計	4,196.62	12,172.21

(出所) Arab Monetary Fund, *Foreign Trade Statistics 1991-2001*.

表4 エジプトの比較優位品目

	RCA指標	世界ランク
繊維	3.73	8
衣服	4.28	29
鉱物	2.86	44
基礎的工業製品	1.18	45
化学	0.76	48
皮革製品	1.09	54
雑貨製品	0.55	64
機械(非電機)	0.21	71
電気部品	0.11	78
食品加工	0.97	83
生鮮食品	2.44	84

(注) RCA指標が1より大きい場合, 当該品目に比較優位を有する。

(出所) International Trade Centre.

表5 地域別貿易相手 (2002年1~9月) (%)

	輸出先	輸入元
西欧	27.7	29.7
アジア	34.7	22.0
北米	8.2	15.6
東欧	5.2	10.3
アフリカ	5.1	4.0
中南米	0.4	5.0
その他	18.6	13.3

(出所) エジプト貿易省, *Monthly Economic Digest*, 2002年11月。表6 エジプトの主な貿易相手国 (2001年)  
(単位: 100万ドル)

国	輸 出		国	輸 入	
	金額	主な品目		金額	主な品目
イタリア	380.6	アルミ, 原油, 鉄鋼, 石油製品	アメリカ	1,837.1	軍車両, 航空機・機部品
アメリカ	346.5	原油, 絨毯, 衣服	ドイツ	962.1	車両, 機械部品, 建材
オランダ	279.7	衣服, アルミ, 石油製品	サウジアラビア	680.3	石油・ガス, エーテル
フランス	164.0	石油ガス, 肥料衣服, 砂糖	イタリア	643.8	産業機器
スペイン	153.8	アルミ, 鉄鋼, プラスチック, 皮革	オーストラリア	525.5	小麦, アルミ鉱石
サウジアラビア	147.4	鉄鋼, 食用品, 陶製品	中国	513.9	タバコ原料, 靴, タイヤ
ドイツ	111.2	アルミ, 石油製品, 貴石	フランス	508.4	航空機, 電算機器
イギリス	98.2	原油, 石油製品, 機械部品	日本	366.5	重電機, 建設機材
シンガポール	86.6	石油製品, 建材	イギリス	300.6	自動車・部品, 電機
トルコ	76.9	繊維, 肥料, 食器, 綿糸	ロシア	291.5	石油, 自動車・部品
日本	67.6	石油製品, 絨毯加工食品	韓国	269.8	船舶, 自動車
レバノン	53.1	石油製品, 食用品, 陶製品	オランダ	258.8	ポリエチレン, 医療機
韓国	51.0	石油製品, 綿糸	アルゼンチン	258.0	鉄鋼, 食用油
ギリシャ	47.3	原油, アルミ, 鉄鋼, 石油製品	ブラジル	252.7	食用油, 鉄, 銅類
ベルギー	41.8	石油製品, 肥料	トルコ	244.0	医療, 自動車・部品

(出所) COMTRADE Statistics.

## 第2節 エジプトのFTA戦略と締結状況

### 1. エジプトのFTA戦略とその意義

後に示すとおり、エジプトは1990年代初頭より、積極的に近隣諸国・地域とFTAを締結している。これには、以下のように、経済的理由だけでなく、政治的な要素も視野に入っている<sup>(5)</sup>。

#### (1) 国内産業の活性化

エジプト政府関係省庁へのインタビュー (Rady [2003]) では、エジプトのFTA戦略の第一義的な目的として、関税・非関税障壁を撤廃することにより、外国企業との競争を通じて、国内産業を活性化することをあげている。世界経済がグローバル化するなか、真に国際競争力をつけ、エジプト経済が生き残り、またその近代化に資することが企図されている。多国間貿易交渉によって、中長期的には貿易自由化は現実のものとなることから、いずれにせよ他国との競争は避けられない、との認識が存在する。

#### (2) 投資促進と既存利益の確保

中東・地中海地域のFTAのハブになり、EUなどの大きな市場へのアクセスを確保することにより、投資先としてのエジプトの魅力を高めることが、FTAのもうひとつの大きな柱である。だが同時に、既存の(エジプト製品の)輸出を守るという側面もある(エルボース [2003])。EU・アメリカなどエジプトの主要貿易相手国は、すでに多数の国とFTAを結んでおり、エジプトだけがFTAから外れると不利益を被ることになる。たとえば、アメリカは近隣のヨルダンとすでにFTAを結んでいるために、エジプト産の繊維製品はヨルダンの産品に比べ、関税分だけ割高になり、アメリカ市場での競争力を失っているという問題がある。FTA(すなわち関税撤廃)によってそのようなマー



ジン差を解消し、自国製品に他国の競合品目と同様の条件を与えることができる。

だが他国・地域とのFTAなどの経済連携を深めることは、エジプトにとって新たな投資獲得競争相手に直面することになる。たとえば、(企業は消費地により近接した立地に生産基地を作ることから)ポーランドなど2004年5月にEUに加盟した東欧諸国は、欧州市場向けの生産基地として、エジプトにとって投資獲得の脅威となることが考えられる。

### (3) 政治的含意

近年、とくに1990年代以降、FTAを含む地域経済連携は、時代の趨勢となっている。だがエジプトのFTAの文脈では、その経済効果を越えて、相手国との関係の強さを象徴する政治的意味合いが無視できない。すなわち経済的なつながりを担保することで、安全保障を確保する意図も存在する。また中東の大国としてのプライドから、FTAにおいても同地域での主導的な地位を確保することに意義を見いだしている。

## 2. エジプトのFTA——進捗状況

### (1) 「エジプト-EU連合協定」(Egypt-EU Association Agreement)

EUとの間ではエジプト-EU連合協定を2001年6月に調印、2004年3月に双方で批准が完了した<sup>6)</sup>。本協定は、(1)政治——人権・民主化など、(2)貿易——農業、工業、およびそれらの中間財など、(3)その他——知的所有権、競争政策、アンチダンピング、セーフガード、サービス分野など、で構成され、2004年1月に(2)の貿易に関する取り決めが発効している。

本協定は、EU側の輸入割当が撤廃されておらず、結果としてEUの交渉力に押されたとの印象はぬぐえない。だが、エジプト側の幼稚産業保護のための保護関税・セーフガードの設置可能などの条項が盛り込まれており、またEUの援助(通関手続きの改革、財政支援、金融政策支援など)がパッケージとなっ

ている (Rady [2003])。

いずれにせよ、本協定の実施は、エジプト経済の状況にかかっている。確かに本協定によって、EU・湾岸向け製品輸出基地として、エジプトの投資先としての魅力は上がる。だが実際には、少なくとも短期的には、競合する国内産業は壊滅的な打撃を被る可能性が大きい。エジプトの最大の懸案として雇用問題があげられるが、短期的な失業増大が協定の実施に重大な障害となりうる。

(2) アメリカ:「貿易投資枠組み協定」(Trade and Investment Framework Agreement: TIFA)

アメリカとの間では1999年に、通関手続き円滑化、民営化、知的所有権、ガバナンス、銀行セクター改革などを内容とするTIFAに署名している。従来からこれのFTAへの格上げを協議してきているが、まだ合意に至っていない。現地アメリカ大使館商務担当官とのインタビュー (Yagi [2003]) によれば、アメリカはTIFAの完全実施をFTA交渉の前提条件としている。だがエジプトはFTA交渉のなかでTIFAに盛り込まれた事項を取り扱いたい意向であり、またエジプト経済が停滞しエジプト側の大幅な譲歩が期待できないことから、交渉は失速している。

EUとアメリカの交渉進展の違いは、両者の産業構造の違いも反映している。アメリカにとって (エジプトが比較優位をもつ) 繊維部門はノース・カロライナ州などの主要産業であり、今年のアメリカ大統領選挙でも重要な州であることから、アメリカ側としても簡単に開放できる分野ではないことも一因である。

(3) アラブ:「大アラブ自由貿易地域」(Greater Arab Free Trade Area: GAFTA)

エジプトは、アラブ連盟が1997年に合意したGAFTA<sup>(7)</sup>のメンバーになっている。それによると加盟国間の関税は、1998年より10年間の移行期間中毎年

10%の関税削減を行い、当初2007年までにはゼロ関税を実現するスケジュールになっている（このゼロ関税は2005年1月1日に前倒しで実施されることに合意されている）。だが実際の運用にあたっては、非関税障壁、農業部門・幼稚産業保護のための例外品目、加盟国内の産油国と非産油国の経済的な格差など、解決すべき問題が多い。

(4) アフリカ:「東南部アフリカ共同市場」(Common Market for East & South Africa: COMESA)

エジプトは、1994年に発足したCOMESA（加盟20カ国）のメンバーに1998年からなっている。COMESAは2000年10月までに加盟国間の関税をゼロにすることを目標にしていたが、アフリカの地域統合スキームの例に漏れず、実際に実行しているのは今のところエジプトを含む9カ国のみである。なお、加盟国のなかでエジプトとの貿易額が大きいのは、スーダンとケニアの2カ国のみ。全加盟国との貿易額は、エジプトの総貿易額の1～2%にすぎない。

(5) その他の二国間貿易協定

エジプトは1990年12月にリビアとの自由貿易協定署名をはじめとして、翌1991年7月にはシリアと、また1990年代後半以降は、チュニジア（1998年3月）、モロッコ（1998年5月）、ヨルダン（1998年12月）、レバノン（1999年1月）、イラク（2001年1月）とのFTAあるいは特惠貿易協定を積極的に締結している。

### 3. FTA政策を推進するうえでの障害・問題点

エジプトとの取引に関する聞き取り調査で必ず耳にするのが、非関税障壁（NTB）の存在である<sup>(8)</sup>。なかでも通関手続き、官僚機構の非効率と腐敗、恣意的な検査・認証および法の解釈があげられる。

### (1) 通関手続きの問題

通関手続きに要する長い時間、汚職、品物の抜き取りなど問題が顕著で、エジプトでのビジネスのコストを引き上げる要因となっている。これに対し、アメリカ開発庁（USAID）が2002年より貿易・投資分野への技術協力として、税関改革プログラムを実施しているが、以下の問題点が指摘されている（Chan [2003]）。

- ① 政府と民間の区分けを曖昧にしておくことによる、税関業務に介在する既得権層の利益が存在する。
- ② 知識・スキルの欠如。改革プログラムの長所・短所についての理解の不足に起因する改革に対する抵抗が存在する（ただし抵抗の度合いは減りつつある）<sup>(9)</sup>。
- ③ マネジメント能力が低く、業務の実態は様式が古く非効率である。また矛盾する手続きがいくつか存在し、資源の浪費がみられる。
- ④ 政府のコミットメントの欠如。中長期的な貿易の拡大効果よりも、関税削減に伴う短期的な税収低下に対する関心が大きく、目標が必ずしも明確ではない。
- ⑤ 政治的問題。過剰な労働力を抱えているものの、エジプトが直面する失業対策の観点から、人員削減が困難となっている。これにはワーク・シェアリング、人員の再配置で対応する方向である。

### (2) 非効率な官僚機構とその腐敗

たとえば輸入の6割を占めるアレキサンドリア税関では、現在も通関に22日要し、32個の署名が必要とされ、22部署が介在している。同じ内容の検査が異なる部署で何度も繰り返され、そのプロセスも人海戦術できわめて非効率であることが指摘されている（Chan [2003]）。そのような措置を回避するための贈収賄などが発生するのは、想像に易い。

## (3) 低い企業統治能力

(実務の詳細に明るくない) 大臣ベースなどのトップセールスで商談のすべてが決まってしまう傾向が強い。このため、必ずしも最適な商取引 (たとえば適切な購買品目の選定など) が成立するわけではないことも、エジプトの特徴として、多くの聞き取り調査で指摘されている (Yagi [2003])。

## 第3節 中東地域の地域統合の効果

前節で述べたとおり、エジプトの主要貿易相手は西欧(およびアジア地域)であることから、EUとの連合協定によって、欧州との深い経済的繋がりを法的枠組みで担保することは合理的であるようにみえる。他方、GAFTAに参加するなど、湾岸地域との連携を模索する努力もなされている。これはエジプトの貿易にどのような影響を及ぼすのか。GCCとの貿易の増加に貢献するのか。あるいはもしそのような効果が期待できないとしたら、この地域における統合の焦点はどこに置くべきか。本節では、とくに貿易に対する地域経済統合の効果に焦点をあて、エジプトの進めるFTA政策の妥当性を検討する。

ここでは、地域統合の効果を実証的に測定する先行研究で広く使われている重力モデルを応用し、「GCC」、「東南アジア諸国連合」(ASEAN)、「南アジア地域協力連合」(SAARC)、「東アフリカ共同体」(EAC)、「南部アフリカ共同体」(SADC)、「南米南部共同市場」(MERCOSUR) に加盟する国・地域の過去の貿易パフォーマンスを検証する<sup>(10)</sup>。本章では、Soloaga and Winters [1999], Watanabe [2000] を応用し、以下のモデルを使用する。

$$\begin{aligned} \ln M_{ij} = & \alpha + \beta_1 \ln Y_i + \beta_2 \ln Y_j + \beta_3 \ln \bar{V}_{ij} + \beta_4 \ln P_i + \beta_5 \ln P_j + \beta_6 \ln D_{ij} + \beta_7 B_{ij} + \beta_8 \ln A_i \\ & + \beta_9 \ln A_j + \beta_{10} I_i + \beta_{11} I_j + \beta_{12} L_{ij} + \sum_k \gamma_{kij} \ln R_{kij} + \sum_k \gamma_{k-j} \ln R_{k-i-j} \\ & + \sum_k \gamma_{k-i} \ln R_{k-ij} + \ln \varepsilon_{kij} \end{aligned}$$

ただし、 $M_{ij}$ は*i*国の*j*国からの年間輸入額、 $Y_i$ 、 $Y_j$ は*i*、*j*それぞれのGDP、 $\overline{V}_{ij}$ は*i*と*j*の1人当たりGDPの差の絶対値（両国間の、とくに産業間の需要構造の近似・相違の代理変数）、 $P_i$ 、 $P_j$ は*i*、*j*の人口、 $D_{ij}$ は*i*、*j*の経済的中心都市の距離（輸送コストの代理変数）、 $B_{ij}$ はダミー変数（*i*、*j*が国境を接する場合1、それ以外は0）、 $A_i$ 、 $A_j$ は*i*、*j*の国土面積、 $I_i$ 、 $I_j$ はダミー変数（島国の場合1）、 $L_{ij}$ はダミー変数（英語、フランス語、スペイン語、スワヒリ語、アラビア語について、*i*、*j*両国の主な使用言語が共通の場合1。文化的類似性の代理変数）、 $R_{kij}$ はダミー変数（ASEAN、SAARC、EAC、SADC、MERCOSUR、GCCについて、*i*、*j*が共通の地域統合スキームに属する場合1）、 $R_{ki-j}$ はダミー変数（ASEAN、SAARC、EAC、SADC、MERCOSUR、GCCについて、*i*がこれに属する場合1）、 $R_{k-ij}$ はダミー変数（ASEAN、SAARC、EAC、SADC、MERCOSUR、GCCについて、*j*がこれに属する場合1）、 $\beta_1$ から $\beta_{12}$ 、 $\gamma_{kij}$ 、 $\gamma_{k-j}$ 、 $\gamma_{k-i}$ は係数、 $\varepsilon_{ij}$ は $[E(Ln\varepsilon_{ij}) = 0]$ となるエラー値。

上記3セットの地域統合ダミー変数について、域内貿易ダミーの(a) $R_{kij}$ は、各地域統合による追加的な貿易増大効果、(b) $R_{ki-j}$ および(c) $R_{k-ij}$ はそれぞれ、世界に対する輸入および輸出面の「開放度」を表す。(a)と(b)の和は、一つの地域統合スキームについて、そのスキームが総域内輸入に及ぼした影響（すなわちグラビティモデルの変数とサンプル国の平均的なパフォーマンスによって得られる「正常値」との差）を計測する。また(c)は、統合スキーム加盟国の輸出（=非加盟国の輸入）が非加盟国全体の経済厚生に及ぼす影響を評価する。本モデルでは、途上地域にある40カ国・地域の、44カ国の貿易パートナー国・地域（付録のサンプル国・地域リスト参照）からの、1970年から2001年までの輸入額実績を対象とする（したがってサンプル数は年に1720件となる）。なお本モデルは、Tobit最尤推定モデルを採用した<sup>(11)</sup>。

計測の結果は表7のとおりである。第1に、グラビティモデルの基本変数であるGDP、1人当たりGDPの差の絶対値、距離は、ほとんどの観測期間で、それぞれ期待された結果が得られた。すなわち、経済規模と貿易量は正の関係にあり、また貿易パートナー間の経済格差と距離は、貿易量に負の影響を

与える。他方、国境を接する国同士の貿易については、何ら有意な結果は得られなかった。

言語に関しては、フランス語は一貫して有意な正の値が得られ、フランス語圏内の強い経済的つながりが確認された。だが中東地域の共通言語であるアラビア語は、いずれの期間においても、有意な正の値は観測されなかった。

地域統合ダミーに転ずると、本章の関心である中東地域のGCCの域内貿易(a)「GCC $ij$ 」の値は、「経済連合協定」(Unified Economic Agreement)が批准された1982年、実施が開始された翌1983年以降について、それ以前とは何ら変化がみられない(ただし1989年単年は除く)。むしろ1990年代初頭は有意な負の値が観測される。(a)「GCC $ij$ 」と(b)「GCC $-ij$ 」の和についても、いったん1980年代後半にはそれまでの負から正に転じたが、1990年以降は再び負に転じ2001年までに至っている。また(c)「GCC $-ij$ 」の値は、1990年代を通じてそれ以前の負から、有意な正に転じており、貿易転換効果による負の影響はGCCについては観察されていない。

他の統合スキームのなかでGCCと対照的な値を示すのがSADCである。SADCの域内貿易変数(a)「SADC $ij$ 」はほぼ一貫して有意な正の値を示しているが、1992年のSADCCからSADCへの改組以来、その値は高いレベルを維持しており、また(c)「SADC $-ij$ 」からも域外の経済厚生に対する負の影響もない。

以上のことから、湾岸地域の地域統合は、1990年の湾岸危機の負の影響の可能性は否定できないものの、結果として、域内の貿易に決定的な影響は何ら及ぼしていない。またエジプトなど非加盟国への負の影響も観測されず、いずれの意味においてもGCCは機能していないと考えられる。

これはエジプトにとってどのような意味をもつか。エジプトは輸出に関してはその15%がアラブ向けであることはすでに述べたとおりである(輸入は9%)。湾岸諸国との地域統合に参加しても、GCCの統合の進展が現状のままであれば、この比率が劇的に変化するとは考え難い。また現在取り組まれているGAFTAについても、「アラビア語」ダミーの数値から判断し、単にアラブ共通の文化圏であることは重大な効果をもたらすとは考えられない。合意

表7 グラビ

	1970	1971	1972	1973	1974	1975
C	18.19 ***	18.18 ***	15.97 ***	11.57 ***	12.09 ***	15.30 ***
LYI	1.37 ***	1.39 ***	1.20 ***	0.82 ***	0.91 ***	1.05 ***
LYJ	1.47 ***	1.45 ***	1.45 ***	1.37 ***	1.47 ***	1.69 ***
LV	-0.12 **	-0.18 ***	-0.14 **	-0.11 **	-0.12 **	-0.12 **
LPI	-0.49 ***	-0.54 ***	-0.25	0.46 ***	0.29 **	0.21
LPJ	-0.37 ***	-0.21	-0.09	-0.05	0.02	-0.23
LD	-1.20 ***	-1.25 ***	-1.18 ***	-1.06 ***	-1.21 ***	-1.35 ***
B	0.10	-0.77	-0.02	0.08	0.10	-0.28
LAI	-0.10	-0.07	-0.20 **	-0.51 ***	-0.35 ***	-0.34 ***
LAJ	-0.26 ***	-0.32 ***	-0.40 ***	-0.36 ***	-0.44 ***	-0.43 ***
LII	0.40	0.38	-0.14	-0.42	0.24	0.13
LIJ	0.48 **	0.27	0.10	0.10	-0.10	-0.07
EN	0.69 ***	0.72 ***	0.61 ***	0.32	0.34	0.23
FR	3.47 ***	3.01 ***	3.06 ***	2.73 ***	2.78 ***	2.55 ***
SP	-0.28	-0.17	0.16	0.51	0.52	0.66
SW	0.84	1.21	1.99	2.22	2.13	3.10 **
ARAB	-0.83	-1.01	-1.15	-1.26	-0.98	-0.88
ASEAN <sub>ij</sub>	0.74	0.74	0.94	0.39	-0.12	0.21
SAARC <sub>ij</sub>	-0.59	-0.38	-0.44	-0.61	-0.81	-0.21
EAC <sub>ij</sub>	2.28 **	1.91 **	1.49	1.51	0.62	0.42
ECWS <sub>ij</sub>	-0.75	0.23	1.36 **	1.45 **	1.78 ***	1.65 ***
SADC <sub>ij</sub>	1.28 **	1.35 **	1.34 **	1.92 ***	1.30 **	1.45 **
MERCO <sub>ij</sub>	1.33 **	1.47 **	1.78 **	2.14 ***	2.01 **	1.72 **
GCC <sub>ij</sub>	-0.18	-0.13	0.42	1.34	-0.03	-0.20
ASEAN <sub>i-j</sub>	0.29	0.31	0.57 **	0.66 ***	0.76 ***	0.45 **
SAARC <sub>i-j</sub>	-0.80 ***	-0.82 ***	-1.00 ***	-0.87 ***	-0.78 ***	-0.70 **
EAC <sub>i-j</sub>	0.60 **	0.79 ***	0.37	0.20	0.83 ***	0.16
ECWS <sub>i-j</sub>	-0.36	-0.36	-0.59 **	-0.20	-0.34	-0.52 **
SADC <sub>i-j</sub>	0.11	0.06	-0.04	0.30	0.38	0.40
MERCO <sub>i-j</sub>	0.25	0.03	0.09	0.77 **	0.75 **	0.62 **
GCC <sub>i-j</sub>	-1.19 ***	-1.15 ***	-0.71	0.92 **	0.91 **	0.52
ASEAN <sub>ij</sub>	0.02	0.19	0.17	0.32	0.39	0.38
SAARC <sub>ij</sub>	0.29	-0.13	0.17	0.37	0.13	0.49
EAC <sub>ij</sub>	1.33 ***	1.19 ***	1.25 ***	1.20 ***	1.39 ***	1.40 ***
ECWS <sub>ij</sub>	-0.63	-1.14 ***	-1.30 ***	-1.31 ***	-1.41 ***	-0.89 **
SADC <sub>ij</sub>	-0.20	-0.20	0.03	-0.28	-0.02	0.04
MERCO <sub>ij</sub>	-0.05	-0.12	-0.02	-0.38	-0.20	0.35
GCC <sub>ij</sub>	0.06	0.49	0.52	0.10	0.97 **	0.30
Adj R <sup>2</sup>	0.45	0.49	0.44	0.48	0.48	0.50

(注) \*\*は5%, \*\*\*は1%水準で有意。

(出所) 筆者作成。



## ティモデル推計

1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982
17.18 ***	15.66 ***	16.40 ***	12.94 ***	17.73 ***	18.90 ***	21.17 ***
1.13 ***	1.17 ***	1.09 ***	0.95 ***	1.22 ***	1.10 ***	1.21 ***
1.77 ***	1.80 ***	1.89 ***	1.69 ***	1.76 ***	1.82 ***	1.96 ***
-0.12 **	-0.16 **	-0.15 **	-0.14 **	-0.26 ***	-0.21 ***	-0.24 ***
0.08	0.07	0.12	0.30 **	-0.10	-0.02	-0.21
-0.27 **	-0.29 **	-0.40 **	-0.21	-0.31 **	-0.40 ***	-0.62 ***
-1.36 ***	-1.16 ***	-1.37 ***	-1.28 ***	-1.47 ***	-1.70 ***	-1.63 ***
-0.22	-0.25	-0.40	-0.29	-0.60	-0.56	-0.37
-0.35 ***	-0.37 ***	-0.33 ***	-0.36 ***	-0.25 ***	-0.26 ***	-0.19 ***
-0.48 ***	-0.50 ***	-0.45 ***	-0.42 ***	-0.42 ***	-0.34 ***	-0.33 ***
0.06	-0.17	0.14	0.01	0.23	-0.06	-0.06
-0.08	-0.16	0.13	0.11	0.09	0.26	-0.04
0.34	0.05	0.09	-0.06	0.03	0.06	0.12
2.78 ***	2.24 ***	2.17 ***	2.44 ***	2.80 ***	3.69 ***	3.12 ***
0.31	0.51	0.23	0.10	-0.65	-0.87	-0.53
3.76 **	2.51	-0.22	0.43	-0.70	-1.02	0.87
-0.96	-0.58	-0.54	0.42	-0.54	-0.65	-1.18 **
0.19	0.48	0.16	0.05	-0.40	-0.94	-0.86
-0.14	-0.47	-0.54	-0.05	-0.89	-0.35	-0.31
0.18	0.26	0.04	0.57	0.63	1.19	-0.76
1.96 ***	2.19 ***	2.56 ***	2.12 ***	1.96 ***	1.30 **	1.93 ***
1.09	1.51 **	1.29 **	1.36 **	1.84 ***	1.59 **	1.70 ***
2.03 **	2.35 ***	2.28 ***	2.43 ***	2.29 ***	1.59 **	1.37
0.12	-0.04	-0.40	-1.24	-0.68	-0.87	-0.64
0.40	0.72 ***	0.76 ***	0.98 ***	1.03 ***	1.19 ***	1.13 ***
-0.72 **	-0.05	-0.03	-0.26	0.55	0.18	0.23
-0.17	0.11	0.16	0.06	0.68 **	-0.04	0.24
-0.58 **	-0.05	-0.33	-0.55 **	-0.71 **	-0.64 **	-0.89 ***
0.20	0.54 **	0.45	0.27	-0.16	-0.03	0.07
0.31	0.28	0.07	0.51	0.11	0.25	-0.54
0.13	0.55	0.64	0.95 **	0.00	-0.05	-0.40
0.59 **	0.90 ***	0.89 ***	0.89 ***	0.82 ***	0.84 ***	0.68 ***
0.99 ***	1.41 ***	1.75 ***	1.10 ***	1.17 ***	1.14 ***	0.97 ***
1.83 ***	1.33 ***	1.29 ***	0.61 **	0.93 ***	0.51	0.77 **
-1.12 ***	-0.90 **	-1.03 ***	-1.09 ***	-1.77 ***	-1.64 ***	-1.91 ***
0.15	0.18	0.29	0.37	0.05	0.20	0.04
0.58 **	0.86 ***	1.08 ***	0.45	0.59 **	0.57 **	0.62 **
-0.05	-0.23	-0.30	-0.01	-0.25	-0.64	-0.86 **
0.51	0.49	0.51	0.47	0.49	0.51	0.53

	1983	1984	1985	1986	1987	1988
C	18.42 ***	18.91 ***	20.85 ***	18.28 ***	15.01 ***	15.08 ***
LYI	1.18 ***	1.18 ***	1.35 ***	1.28 ***	1.23 ***	1.22 ***
LYJ	1.87 ***	1.92 ***	1.99 ***	1.79 ***	1.79 ***	1.82 ***
LV	-0.17 ***	-0.15 ***	-0.21 ***	-0.15 ***	-0.16 ***	-0.14 ***
LPI	-0.15	-0.22	-0.39 ***	-0.42 ***	-0.29 **	-0.29 **
LPJ	-0.54 ***	-0.59 ***	-0.78 ***	-0.64 ***	-0.56 ***	-0.67 ***
LD	-1.52 ***	-1.55 ***	-1.59 ***	-1.46 ***	-1.26 ***	-1.24 ***
B	-0.33	-0.27	-0.32	-0.12	0.06	-0.01
LAI	-0.21 ***	-0.18 ***	-0.16 **	-0.08	-0.15 **	-0.18 ***
LAJ	-0.32 ***	-0.31 ***	-0.23 ***	-0.21 ***	-0.21 ***	-0.15 **
LII	0.14	0.01	0.05	0.29	0.29	0.00
LIJ	0.11	-0.10	0.04	0.01	-0.01	-0.09
EN	0.25	0.20	0.08	0.41 **	0.43 **	0.57 ***
FR	2.96 ***	2.49 ***	2.85 ***	2.33 ***	1.90 ***	1.66 ***
SP	-0.48	-0.32	-0.09	0.33	0.90	0.90
SW	-0.54	-0.89	-0.40	0.62	2.24	-0.40
ARAB	-1.02	-0.45	-0.94	-0.63	-1.09 **	-1.36 **
ASEAN <sub>ij</sub>	-0.44	-0.68	-0.75	-0.79	-0.45	-0.58
SAARC <sub>ij</sub>	-0.54	0.00	-0.65	-0.12	-0.23	-0.19
EAC <sub>ij</sub>	1.32	1.86	1.02	0.46	0.02	0.63
ECWS <sub>ij</sub>	1.76 ***	1.70 ***	1.04 **	1.19 **	1.57 ***	1.57 ***
SADC <sub>ij</sub>	2.23 ***	1.93 ***	1.30 **	0.75	1.07 **	1.17 **
MERCO <sub>ij</sub>	1.83 **	1.41 **	1.34 **	1.45 **	1.65 **	1.52 **
GCC <sub>ij</sub>	-0.65	-0.88	-0.57	-0.69	0.41	0.90
ASEAN <sub>i-j</sub>	1.16 ***	1.00 ***	1.37 ***	1.09 ***	1.37 ***	1.40 ***
SAARC <sub>i-j</sub>	0.43	0.40	1.23 ***	0.70 ***	0.88 ***	0.79 ***
EAC <sub>i-j</sub>	0.31	0.11	0.73 ***	0.23	0.64 **	0.21
ECWS <sub>i-j</sub>	-0.41	-0.59 **	0.15	-0.44 **	-0.10	-0.22
SADC <sub>i-j</sub>	0.19	0.20	0.87 ***	0.38	0.52 **	0.14
MERCO <sub>i-j</sub>	-0.33	-0.51	-0.40	-0.66 **	-0.23	-0.54 **
GCC <sub>i-j</sub>	0.03	-0.31	-0.22	-0.22	0.12	0.04
ASEAN <sub>ij</sub>	0.70 ***	1.10 ***	1.36 ***	1.40 ***	1.60 ***	1.80 ***
SAARC <sub>ij</sub>	1.20 ***	1.27 ***	1.62 ***	1.31 ***	1.46 ***	1.80 ***
EAC <sub>ij</sub>	0.68 **	0.79 **	1.01 ***	0.68 **	0.85 ***	0.79 ***
ECWS <sub>ij</sub>	-1.23 ***	-0.50	-0.17	-0.47	-0.04	0.21
SADC <sub>ij</sub>	0.16	0.72 **	1.05 ***	0.77 ***	1.39 ***	1.22 ***
MERCO <sub>ij</sub>	0.71 **	1.30 ***	1.19 ***	0.53 **	0.58 **	0.75 ***
GCC <sub>ij</sub>	-0.68 **	-0.69 **	-0.63 **	-0.13	0.38	0.44
Adj R <sup>2</sup>	0.53	0.54	0.55	0.57	0.55	0.56

1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
16.25 ***	15.49 ***	16.13 ***	13.08 ***	12.39 ***	11.21 ***	10.47 ***
1.35 ***	1.40 ***	1.44 ***	1.25 ***	1.23 ***	1.16 ***	1.20 ***
1.87 ***	1.91 ***	1.87 ***	1.71 ***	1.68 ***	1.54 ***	1.49 ***
-0.15 ***	-0.17 ***	-0.17 ***	-0.14 ***	-0.11 ***	-0.11 ***	-0.12 ***
-0.48 ***	-0.55 ***	-0.57 ***	-0.21 **	-0.11	-0.07	-0.25 **
-0.70 ***	-0.63 ***	-0.67 ***	-0.39 ***	-0.33 ***	-0.25 **	-0.18 **
-1.25 ***	-1.27 ***	-1.39 ***	-1.35 ***	-1.45 ***	-1.34 ***	-1.22 ***
-0.01	-0.08	-0.09	-0.06	0.07	-0.19	0.03
-0.12 **	-0.02	-0.04	-0.16 ***	-0.19 ***	-0.20 ***	-0.09
-0.18 ***	-0.24 ***	-0.14 **	-0.22 ***	-0.21 ***	-0.17 ***	-0.19 ***
0.03	0.41 **	0.23	0.28	0.14	0.07	0.18
-0.10	-0.22	-0.10	-0.26	-0.13	-0.18	-0.26
0.45 ***	0.36 **	0.57 ***	0.66 ***	0.68 ***	0.55 ***	0.50 ***
1.93 ***	1.87 ***	2.07 ***	1.54 ***	1.26 ***	1.43 ***	1.24 ***
1.01 **	0.87	0.21	0.34	0.44	0.35	0.59
1.82	0.62	-0.68	-0.38	0.30	1.22	1.49
-1.43 ***	-1.22 **	0.59	0.36	0.26	0.05	-0.32
-0.53	-0.70	-1.17 ***	-1.16 **	-1.58 ***	-1.10 ***	-1.08 **
-0.08	-0.07	-0.33	-0.01	-0.45	-0.27	-0.35
0.36	1.01	1.29	1.55	1.10	1.60 **	1.66 **
1.48 ***	1.80 ***	1.02 **	1.66 ***	1.22 ***	1.52 ***	1.64 ***
1.68 ***	1.19 **	1.38 ***	1.03 **	1.36 ***	1.78 ***	1.88 ***
1.52 **	1.65 **	1.38 **	1.45 **	1.38 **	1.87 ***	1.77 ***
1.39 **	0.34	-1.73 ***	-1.53 **	-1.01	-0.35	0.11
1.41 ***	1.39 ***	1.52 ***	1.29 ***	1.37 ***	1.07 ***	1.07 ***
1.06 ***	1.13 ***	1.25 ***	0.94 ***	0.68 ***	0.49 **	0.56 ***
0.57 **	0.72 ***	1.69 ***	1.23 ***	1.47 ***	1.02 ***	0.68 ***
0.11	0.06	0.24	0.43 **	0.51 **	0.25	0.09
0.28	0.77 ***	0.62 ***	0.80 ***	0.50 **	0.53 **	0.36
-0.52 **	-0.83 ***	-0.41	-0.06	0.18	-0.04	-0.75 ***
-0.47	-0.53 **	-0.29	0.20	0.40	0.27	-0.15
1.84 ***	1.91 ***	1.94 ***	1.70 ***	1.78 ***	1.44 ***	1.32 ***
1.92 ***	2.10 ***	2.08 ***	1.54 ***	1.53 ***	1.07 ***	0.96 ***
1.45 ***	1.94 ***	2.19 ***	1.74 ***	2.00 ***	1.28 ***	0.76 ***
0.84 ***	0.90 ***	0.69 ***	0.40	0.87 ***	0.70 ***	0.48 **
1.51 ***	1.95 ***	1.26 ***	1.23 ***	1.23 ***	1.16 ***	1.11 ***
1.15 ***	1.19 ***	0.82 ***	0.87 ***	0.56 **	0.19	0.24
0.29	0.53 **	0.15	0.54 **	0.58 **	0.70 ***	0.83 ***
0.58	0.58	0.59	0.56	0.58	0.56	0.56

	1996	1997	1998	1999	2000	2001
C	11.60 ***	10.10 ***	9.86 ***	9.64 ***	11.81 ***	10.52 ***
LYI	1.31 ***	1.14 ***	1.09 ***	1.13 ***	1.13 ***	1.10 ***
LYJ	1.53 ***	1.53 ***	1.51 ***	1.42 ***	1.41 ***	1.41 ***
LV	-0.06	-0.11 ***	-0.15 ***	-0.11 ***	-0.14 ***	-0.15 ***
LPI	-0.36 ***	-0.13	-0.17	-0.17	-0.13	0.01
LPJ	-0.20 **	-0.24 **	-0.27 ***	-0.15	-0.08	0.02
LD	-1.35 ***	-1.27 ***	-1.23 ***	-1.27 ***	-1.46 ***	-1.42 ***
B	0.04	-0.18	0.00	0.00	-0.17	-0.07
LAI	-0.10	-0.15 ***	-0.10	-0.12 **	-0.17 ***	-0.23 ***
LAJ	-0.17 ***	-0.14 ***	-0.08	-0.13 ***	-0.18 ***	-0.23 ***
LII	-0.21	0.00	0.08	-0.17	-0.26	-0.17
LIJ	-0.20	-0.15	0.00	-0.13	-0.04	-0.16
EN	0.53 ***	0.47 ***	0.18	0.29 **	0.25	0.19
FR	1.33 ***	1.69 ***	1.09 ***	1.67 ***	1.41 ***	1.76 ***
SP	0.64	0.62	0.32	0.08	-0.19	0.05
SW	1.55	0.17	0.87	0.73	0.83	0.68
ARAB	-0.08	0.01	-0.05	-0.26	-0.33	-0.42
ASEAN <sub>ij</sub>	-1.28 ***	-1.09 ***	-0.76 **	-0.94 **	-1.17 ***	-1.18 ***
SAARC <sub>ij</sub>	-0.36	-0.21	-0.09	-0.29	-0.53	-0.41
EAC <sub>ij</sub>	1.19	2.55 ***	1.09	1.79 **	1.69 **	1.86 **
ECWS <sub>ij</sub>	1.36 ***	1.79 ***	1.83 ***	1.32 ***	0.97 **	1.44 ***
SADC <sub>ij</sub>	2.44 ***	2.50 ***	2.37 ***	2.36 ***	2.41 ***	2.27 ***
MERCO <sub>ij</sub>	1.21 **	1.88 ***	2.04 ***	1.92 ***	1.71 ***	1.68 ***
GCC <sub>ij</sub>	-0.12	-0.07	-0.20	-0.02	-0.39	-0.47
ASEAN <sub>i-j</sub>	0.80 ***	1.26 ***	1.18 ***	1.34 ***	1.30 ***	1.31 ***
SAARC <sub>i-j</sub>	0.78 ***	0.65 ***	0.52 **	0.69 ***	0.42 **	0.20
EAC <sub>i-j</sub>	0.72 ***	0.43 **	0.33	0.47 **	0.39 **	0.46 **
ECWS <sub>i-j</sub>	0.18	-0.13	0.01	0.13	0.20	0.13
SADC <sub>i-j</sub>	0.37 **	0.17	0.40 **	0.40 **	0.15	0.04
MERCO <sub>i-j</sub>	-0.60 **	-0.23	-0.45 **	-0.24	-0.07	0.08
GCC <sub>i-j</sub>	-0.60 **	-0.14	0.01	-0.05	-0.55 **	-0.08
ASEAN- <sub>ij</sub>	1.35 ***	1.48 ***	1.99 ***	1.84 ***	1.86 ***	1.96 ***
SAARC- <sub>ij</sub>	1.17 ***	1.04 ***	0.92 ***	0.74 ***	0.73 ***	0.51
EAC- <sub>ij</sub>	1.07 ***	0.71 ***	0.50 **	0.33	0.32	0.38
ECWS- <sub>ij</sub>	0.66 ***	0.58 **	0.31	0.36	0.37	0.15
SADC- <sub>ij</sub>	0.90 ***	0.73 ***	0.87 ***	0.95 ***	0.82 ***	0.70 ***
MERCO- <sub>ij</sub>	0.40 **	0.13	0.06	0.41 **	0.54 **	0.76 ***
GCC- <sub>ij</sub>	0.69 ***	0.67 ***	0.88 ***	1.03 ***	0.99 ***	1.21 ***
Adj R <sup>2</sup>	0.55	0.56	0.55	0.56	0.54	0.55

表7 資料 グラビティモデル・サンプル国

$i$ (輸入国)	地域統合スキーム	$j$ (輸出国)	$i$ (輸入国)	地域統合スキーム	$j$ (輸出国)
ベナン	(ECOWAS)	ベナン	ネパール	(SAARC)	ネパール
カメルーン	(ECOWAS)	カメルーン	パキスタン	(SAARC)	パキスタン
象牙海岸	(ECOWAS)	象牙海岸	フィリピン	(ASEAN)	フィリピン
エチオピア		エチオピア	シンガポール	(ASEAN)	シンガポール
ガンビア	(ECOWAS)	ガンビア	スリランカ	(SAARC)	スリランカ
ガーナ	(ECOWAS)	ガーナ	タイ	(ASEAN)	タイ
ギニア	(ECOWAS)	ギニア	アルゼンチン	(MERCOSUR)	アルゼンチン
ケニア	(EAC)	ケニア	ブラジル	(MERCOSUR)	ブラジル
マラウイ	(SADC)	マラウイ	パラグアイ	(MERCOSUR)	パラグアイ
ナイジェリア	(ECOWAS)	ナイジェリア	ウルグアイ	(MERCOSUR)	ウルグアイ
セネガル	(ECOWAS)	セネガル	バハレーン	GCC	バハレーン
シエラレオネ	(ECOWAS)	シエラレオネ	クウェート	GCC	クウェート
タンザニア	(EAC,SADC)	タンザニア	オマーン	GCC	オマーン
ウガンダ	(EAC)	ウガンダ	カタール	GCC	カタール
ザンビア	(SADC)	ザンビア	サウジアラビア	GCC	サウジアラビア
ジンバブウェ	(SADC)	ジンバブウェ	UAE	GCC	UAE
バングラデシュ	(SAARC)	バングラデシュ	エジプト		エジプト
香港		香港	メキシコ		メキシコ
インド	(SAARC)	インド			日本
インドネシア	(ASEAN)	インドネシア			フランス
マレーシア	(ASEAN)	マレーシア			イギリス
モルディブ	(SAARC)	モルディブ			アメリカ

データ出所

輸入額：IMF, *Direction of Trade Statistics*.GDP, 1人当たりGDP, 面積：IMF, *World Economic Outlook Database 2003*. Alan Heston, Robert Summers and Bettina Aten, *Penn World Table Version 6.1*, Center for International Comparisons at the University of Pennsylvania (CICUP), October 2002.距離：J. Haveman, *Distance Measure*, Empirical Investigations in International Trade.

http://www.maclester.edu/research/economics/PAGE/HAVEMAN/Trade.Resources/Data/Gravity/dist.txt, Distance Calculator, (http://www.indo.com/distance/)

人口：Penn World Table Version 6.1, J. Lahmeyer, *Population Statistics*.

http://www.library.uu.nl/wesp/populstat/populhome.html

言語：J. Haveman, *Languages*, Empirical Investigations in International Trade.

http://www.maclester.edu/research/economics/PAGE/HAVEMAN/Trade.Resources/Data/Gravity/language.txt

された政策の完全実施など加盟国のコミットメントがないかぎり、意図された結果は得られないと推察される。各国の国内政治上の問題のため域内貿易の自由化が困難であるならば(たいていの場合そうだが)、むしろ非経済的なアラブ・地中海地域の連帯を象徴するものとしてのメリット(たとえば域外国・地域との交渉におけるバーゲニング・パワー)を追求すべきであろう。

#### 第4節 エジプトのFTA政策のありかた

エジプトがそのFTA戦略を成功させるためには、どのような条件が求められるのか。上述のとおり、エジプトは自国市場の自由化を通じて、国内産業の活性化と投資の促進を企図している。EUとの連合協定もこの文脈で理解できる。だが現状から判断して、この目的の実現は必ずしも容易ではない。

##### 1. 日・エジプト経済関係

たとえばエジプトが将来のFTAパートナーとして興味をもつ日本との貿易・投資の現状を通じて考えてみる。表8のとおり、両国間の貿易は、日本の輸出5億700万ドル、輸入6900万ドル(2002年実績)で、日本側の大幅な貿易黒字となっている。日本からは、トラック・乗用車および部品、建設用機械、電気機器などの工業製品の輸出、エジプトからは石油など原料の輸入が主体である。

日本の対エジプト投資は、(1) (関税障壁に守られた) エジプト国内市場を主な対象とした先発グループと、(2) 東アフリカ・北アフリカなどの周辺市場をも視野に入れた後発グループの、二つのタイプに分けられる。ただ1951～2001年度累計の投資実績は、全体で34件1億800万ドルにすぎず、近年のエジプト経済の不振を反映し、とくに前者のタイプの規模は縮小傾向にある。

日本とエジプトの経済関係は、質・量ともに希薄であるといわざるをえな

表8 日本・エジプト経済関係

	貿易額(100万米ドル)	主な品目 (%)	進出企業数・業種
日本→エジプト	2000年 734 2001年 578 2002年 507	輸送機械 (40.2) 一般機械 (22.0) 電気機器 (12.5)	55社 <sup>1)</sup> 鉄鋼, 製菓, 自動車・部品, 空調機器など
エジプト→日本	2000年 157 2001年 76 2002年 69	石油・製品 (48.6) 実綿・繰綿 (13.8) 繊維類 (8.6)	4社 航空, 旅行, セラミックなど
(参考)			
日本→フィリピン	2002年 8460	半導体部品 データ入出力装置	455社 <sup>2)</sup> 電気・電子, 自動車など
フィリピン→日本	2002年 6540	半導体, 発電装置	

(注) 1) 2000年6月時点。現在はこの半数程度に減少。

2) 2002年1月時点。

(出所) JETRO。

い。たとえば、ASEANのなかでエジプトとほぼ同じ経済規模のフィリピンと比べると、日・エジプトの経済関係のサイズは圧倒的に小さい。また、その関係はそれぞれの比較優位に基づく財の交換が主であるのに対し、フィリピンとの間では、産業内貿易（たとえば半導体部品の輸出とその製品輸入）にみられる両国にまたがる生産ネットワークの存在など、深い経済的関係を反映している。逆にいえば、日系企業にとってエジプトは、少なくとも現時点では、市場としても投資先としても魅力的ではないことを意味する。

## 2. 日・エジプトFTA —— 予想される交渉の主なポイント

### (1) 日本市場へのアクセス

現在の日本の関税レベルから判断し、単なる関税の撤廃によるエジプトの対日輸出増加の可能性は限定的である。ただエジプトはジャポニカ米を生産しており、輸出能力は存在する。価格レベルは日本の価格の10分の1程度で、エジプト側に強い輸出意欲があり、また日本の米輸入の関税化への関心も強

い<sup>(12)</sup>。また他の有望輸出品目のなかでは、柑橘類があげられるものの、検疫面で技術的問題があり現行では困難である。

## (2) エジプト側の改善すべき点

エジプト側の関税撤廃によって、日本の対エジプト輸出の増加はある程度見込まれるものの、その増加量は不透明である。これは①エジプトの経済サイズから、関税撤廃が実現しても劇的な需要増は見込めないこと、また②EUがすでにエジプトと協定を結んでおり、日本とのFTAによってEUからの輸入が日本製品に転換することはない。また為替レートの動向で、関税撤廃の効果が打ち消されることも考慮すべきである。

むしろ交渉のテーブルに載せるべき課題は、(日本のメリットを反映した)エジプトの制度・ルール整備(税関手続き、投資手続き、課税ルールなど)による非関税障壁の撤廃であろう。また相互認証などFTAパートナーに対する差別的待遇によって、両国にとってプラスの効果が期待できる。

## (3) エジプトおよび日本のメリット

エジプト側のFTA基本戦略は先に述べたが、エジプトにとって日本とのFTAについては、より政治的、象徴的意味合いが大きい。すなわち日本市場へのゼロ関税アクセスという「アナウンス効果」であり、またエジプトにとって「中東で最初に日本とFTAを結ぶ」という、政治的ステータスに意義がある。また日本という大国(大市場)とFTAを結ぶことによって、連合協定を結ぶEUとのバランスを取るという意義もあるだろう。また、日本との協定によって、(日本・シンガポールとの経済連携協定のように)先述の柑橘類の検疫問題に代表される日本側の貿易障壁の撤廃や、観光振興に関する協力などの付帯利益もエジプト側として期待できる。

他方、日本側にとっては、FTAによる貿易・投資が新たに増加する可能性は小さいが、既存の日本企業の取引を防衛するという意義がある。EU-エジプトの連合協定によって、日本製品と無税のEU製品との通常関税分(33%)



の差は決定的であり、日本の自動車・部品など競合する業種では、大きな打撃を受けることが予想される。そのような事態になった場合、現在の対エジプトビジネスのボリュームおよび収益性から判断し、エジプトから既進出の日系企業（とくに製造業）が早々に撤退する公算が大である。

だが日本とのFTAによって関税が削減された場合、現地進出の日系製造業へのインタビューでは、エジプトでの現地生産（投資）よりも日本からの製品輸入が増加するとの見方がある。多くの日系企業はすでにEU内に生産拠点をもっており、欧州市場向けにはこれらの生産設備の増強・集約が起これらと考えられる。この意味で、エジプトのFTA戦略は、「絵に描いた餅」となる可能性は否定できない。

また、数値化できない曖昧さはあるが、経済圏としての取り込みという問題がある。メキシコと同様に、世界経済のなかでマージナルなところでこそFTAが問題となる。元来エジプトは欧州との取引が大きいのが、EUとの連合協定によってエジプトがEU圏により一層取り込まれることになる。日本にとって現状では決して重要とはいえないエジプト市場は看過するとしても、EUの囲い込みが湾岸まで及んだらどうなるかといった長期の検討課題が存在する。エジプトはEU、中東、アフリカへの窓口という側面もあり、日本にとってこれらの地域とのチャネルの選択肢を確保するうえでも、長期的にはエジプトは重要な国であるとも考えられる。

とはいえ、中東・アフリカ地域のなかで、エジプト経済自体は、潜在的な市場として決して小さくない。人口7000万＋ $\alpha$ であることから、住宅、電力、水道、石油に加え、天然ガス、観光などの有望分野には、アメリカ企業も興味を示している。また、治安も良く、中東地域のなかでは比較的オープンであるという点では、ビジネスがやりやすいとの評価も聞かれた<sup>(13)</sup>。国民所得が過去10年間に急速に伸びてきており、持続的な成長が確固としたものになれば、自動車・電気製品など、日本に国際競争力のある品目については、今後期待ができる市場と考えられる。

またエジプトは、WTOにおける「新分野」（貿易円滑化、競争政策、投資、

政府調達)の交渉に反対するG20のメンバーである。エジプトとのFTA交渉に当該分野を包括し、途上国側の「穴を開ける」という、WTO交渉との関連も期待できる。

日本にとってエジプトとのFTAは、エジプトの政治的、経済的潜在性をいかに評価するかにかかっている。FTAによる付加的な効果自体は、きわめて限定的と考えられる。だが日本として、米・欧と協力しつつエジプトの近代化・民主化を推し進め、公平かつ公正な社会を実現すること、およびそれらを通じた中東地域へのコミットメントは、数値化できないものの戦略的重要性が認められる。

## おわりに

エジプトの進めるFTA戦略は、同国経済にとって「諸刃の剣」という側面が存在する。すなわち、自由化による貿易の増大、およびそれがもたらす国内産業の活性化と投資誘致は期待できる。とくにこれらの効果は、先進工業国とのFTAによって実現する可能性がより高くなる。だがその反面、少なくとも短期的には、現状では競争力の低い国内産業が打撃を受ける可能性が高い。また単なる関税の撤廃は、国内の生産基盤を侵食する結果となるだろう。真に国内産業の競争力を高め、また投資を促進するためには、現在の商慣行、投資関連法、財産権の保護、税関手続きおよび関連の規制といった行政システム、それにその運用など、エジプトにおけるビジネス環境を決定する諸要因を大幅に改善することが不可欠である。これらの措置が短期的には既得権益層を脅かし、またさらなる短期的な失業の増大を招きうることから、政治指導者の意志がFTA戦略を成功させる究極的な鍵となる。

[注] \_\_\_\_\_

(1) とくに1997年は、上述のルクソール事件による観光客の大幅な減少と、アジ

ア金融危機による輸出およびスエズ運河収入の落ち込みが、エジプト経済を直撃した。その後いったん回復の兆しがみえたところ、2001年の9・11事件の影響が、エジプト経済回復の芽を摘んだといえる。

- (2) エジプト政府のマクロ経済指標として、貿易省による*Monthly Economic Digest*などがある。だが本章では、他のアラブ諸国との比較という観点から、同一期間で統一された分類形式の統計が入手できるAMFの資料を引用している。
- (3) エジプト貿易省の統計では、サービス輸出として観光(5.0%)が計上されている。
- (4) 本指標は、エジプトの貿易データからバラッサモデルを用いて計算されたもの。計算式は、 $RCA_{ij} = 100(X_{ij}/X_{iw}) / (X_{jt}/X_{wt})$  で表される。ただし、 $RCA_{ij}$ は*i*国の財*j*の比較優位指数、 $X_{ab}$ は*a*国の財*b*の輸出、*w*は世界全体、*t*はすべての財を表す。
- (5) この部分は、筆者が2003年12月に行った、エジプト政府、在エジプト外交団、援助機関などへのインタビューに基づいている。
- (6) 調印から実施に至るまで2年間のタイムラグは、エジプト国内の既得権を得ている民間企業の抵抗も、大きな要因のひとつである。連合協定の具体的内容については、本書第7章を参照のこと。
- (7) 構成国は、バハレーン、クウェイト、オマーン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、レバノン、エジプト、イラク、ヨルダン、シリア、リビア、モロッコ、チュニジア、アルジェリアの15カ国。ただしモロッコは2000年に離脱。
- (8) このNTBのコストが、貿易額の10%に相当するとする研究も存在する。たとえば、Konan [2003]。
- (9) USAIDのパイロット・プロジェクトとして、ダミエッタ税関の成功例があげられる。この6カ月間の改革プログラムによって、通関所要日数が平均22日から4日間以下になり、汚職が一掃された実績がある。
- (10) グラビティモデルは、二国間貿易の決定要因について推計することを目的に、Tinbergen [1962], Pöyhoönen [1963], Linneman [1966] によって開発された。その後Aitken [1973] が特惠的貿易協定に応用した。このモデルは理論的脆弱性が指摘されていたが、Anderson [1979], Deardorff [1995] によって、その有効な実証性と理論的背景の間のギャップがいくらか埋められた。最近の先行研究——たとえばForoutan and Pritchett [1993], Montenegro and Soto [1996], Elbadawi [1997] ——では、需要構造は所得レベルによって決定されるような経済単位間の貿易はより大きいとの「リンダー仮説」(Linder [1961])を検証するために、本章のモデルでも採用されている二国間の1人当たりGDPの差の絶対値などの変数が取り入れられている。

- (1) Tobitモデル採用の妥当性は, Amemiya [1985], Foroutan and Prichett [1993], Montenegro and Soto [1996], Elbadawi [1997], Soloaga and Winters [1999] を参照。参考までに, 別途本モデルについてOLSによる推計を行ったが, すべてのサインがTobit推計と一致する結果が得られた。なお本モデルの関心がGCCなどの途上国地域統合であることから, 世界モデルとすれば理想的であるものの, 現サンプル国数で十分な結果を得られると判断した。
- (2) ただしエジプト米は品質面で劣っていることから, たとえばタイと比べても大きな脅威にはならないと考えられる。
- (3) たとえばサウジアラビアでは, 現地人のパートナーが必要。

### [参考文献]

#### 〈英語文献〉

- Aitken, N. D. [1973] "The Effect of the EEC and EFTA on European Trade: A Temporal Cross-Section Analysis," *American Economic Review*, 63, pp.881-892.
- Amemiya, T. [1985] *Advanced Econometrics*, Oxford: Basil Blackwell.
- Anderson, J. E. [1979] "A Theoretical Foundation for the Gravity Equation," *American Economic Review*, 69(1), pp.106-116.
- Balassa, B. [1965] "Trade Liberalisation and 'Revealed' Comparative Advantage," *Manchester School of Economic and Social Studies*, 33, pp.99-123.
- [1977] "'Revealed' Comparative Advantage Revisited: An Analysis of Relative Export Shares of the Industrial Countries, 1953-1971," *Manchester School of Economic and Social Studies*, 45, pp.327-344.
- Deardorff, A. V. [1995] "Determinants of Bilateral Trade: Does Gravity Work in a Neoclassical World?" National Bureau of Economic Research (NBER) Working Paper No. W5377, Cambridge, Massachusetts: NBER.
- Elbadawi, I. [1997] "Regional Trade and Monetary Schemes," in A. Oyejide, I. Elbadawi, and P. Collier eds., *Regional Integration and Trade Liberalisation in SubSaharan Africa, vol.1: Framework, Issues and Methodological Perspectives*, London: Macmillan, pp. 210-255.
- Foroutan, F. and L. Prichett [1993] "Intra-Sub-Saharan African Trade: Is It Too Little?" *Journal of African Economies*, 2 (2), pp. 74-105.
- Frankel, J. A. and S. Wei [1996] "ASEAN in a Regional Perspective," Working Paper No. C96-074, Center for International and Development Economics Research (CIDER), Department of Economics, University of California at Berkley,

- Berkley, California: CIDER.
- Konan, D. E. [2003] "Alternative Paths to Prosperity: Economic Integration Among Arab Countries," Working Paper 77, Egyptian Centre for Economic Studies, Cairo. <http://www.eces.org.eg>
- Linder, S. B. [1961] *An Essay on Trade and Transformation*, New York: John Wiley and Sons.
- Linneman, H. [1966] *An Econometric Study of International Trade Flows*, Amsterdam: North Holland.
- Montenegro, C. and R. Soto [1996] "How Distorted Is Cuba's Trade? Evidence and Predictions from a Gravity Model," *Journal of International Trade and Economic Development*, 5 (1), pp 45-68.
- Poyhoonen, P.[1963]"A Tentative Model for the Flows of Trade between Countries," *Weltwirtschaftliches Archiv*, 90(1), pp.93-99.
- Soloaga, I and L. A. Winters [1999] "Regionalism in the Nineties: What Effect on Trade?" Working Paper 2156, Washington, D.C.: World Bank.
- Tinbergen, J. [1962] *Shaping the World Economy: Suggestions for an International Economic Policy*, New York: The Twentieth Century Fund.
- Watanabe, M. [2000] *The Effects of Regional Integration in East Africa*, Ph. D. dissertation, University of Manchester.

〈インタビュー〉

- Chan, A. S. [2003] Interview by author, 23 December, Cairo: U.S. Agency for International Development.
- Rady, M. [2003] Interview by author, 24 December, Ministry of Foreign Affairs, Egypt.
- Yagi, E. [2003] Interview by author, 23 December, Cairo: Embassy of the United States of America.
- エルボース (エジプト貿易省大臣顧問) [2003] 「シリーズ識者に聞く～エジプトのFTA政策」, JETRO日本貿易振興機構カイロ事務所インタビュー, 2003年8月25日, [http://www.jetro.go.jp/turkey/middleeast/special/cairo\\_j\\_special\\_si\\_kisyanikiku\\_3.html](http://www.jetro.go.jp/turkey/middleeast/special/cairo_j_special_si_kisyanikiku_3.html)